FUJIFILM

ApeosPro™ C810
ApeosPro C750
ApeosPro C650

リファレンスガイド
付録編

2021年4月　GM1037J1-1 1版　富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

1 はじめに

エミュレーションモード、ダイレクトプリント、外部アクセス、トラブルの対処方法などについて記載しています。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

商標やマニュアルの表記については、『リファレンスガイド 本体編』を参照してください。

2 付録

2.1 エミュレーション

エミュレーションモードを利用すると、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができます。インターネットサービスから設定します。

参照
- 詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

関連するリストの出力

参照
- 詳しくは、『リファレンスガイド 操作編』の「基本操作」を参照してください。

フォント

使用できるフォントは、⚙ > [機械確認（メーター確認）] > [レポート / リストの出力] > [プリンター設定] で、[フォントリスト]、または [PCL フォントリスト] を [プリント] して確認できます。

フォーム

⚙ > [機械確認（メーター確認）] > [レポート / リストの出力] > [プリンター設定] > [ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト] を [プリント] して確認できます。

バーコード

バーコードの指定方法は、⚙ > [機械確認（メーター確認）] > [レポート / リストの出力] > [PCL フォントリスト] を [プリント] して確認できます。

関連する設定メニュー

機械管理者モードにログインして設定します。

エミュレーションモード	[ポート設定]	[メモリー設定]	[フォーム削除]
ART IV	あり	あり	あり
ESC/P	あり	あり	あり
PC-PR201H	あり	あり	あり
PCL	あり	–	–
HP-GL、HP-GL/2	あり	あり	–

ポート設定

⚙ > [設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] で設定します。

- ポートの起動（USB/LPD/IPP/Port9100/WSD）
  エミュレーションモードで使用するポートを起動します。

メモリー設定

> ［設定］ > ［アプリ設定］ > ［プリンター設定］ > ［メモリー設定］で設定します。

補足

- ストレージが取り付けられている場合、設定は変更できません。

- ［ART IV ユーザー定義用メモリー］
  ART IV のユーザー定義で使用するメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

参照

- その他の操作については、『リファレンスガイド 操作編』の「設定」を参照してください。

フォーム削除

> ［設定］ > ［アプリ設定］ > ［プリンター設定］ > ［フォーム削除］で、フォームを削除するモードを選択します。

2.2 ダイレクトプリント

プリンタードライバーではなく、lpr コマンドなどを使用してファイルを直接プリントする機能です。インターネットサービスから設定します。

補足

- lpr コマンドを使用するときは、> ［設定］ > ［ネットワーク設定］ > ［ポート設定］ > ［LPD］ > ［LPD-ポート］を［起動］にしてください。

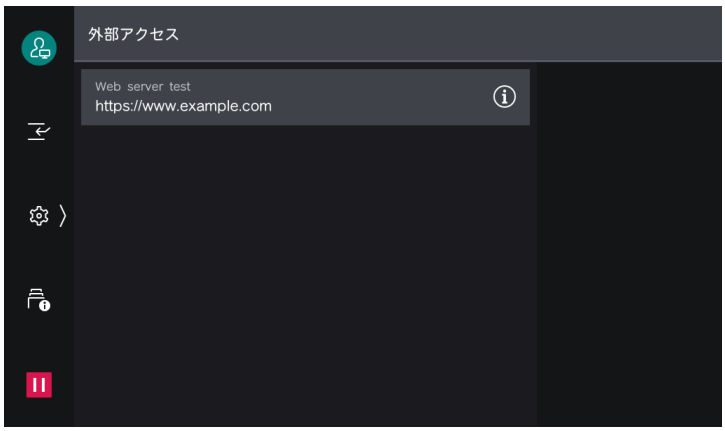
参照

- 詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

2.3 外部アクセス

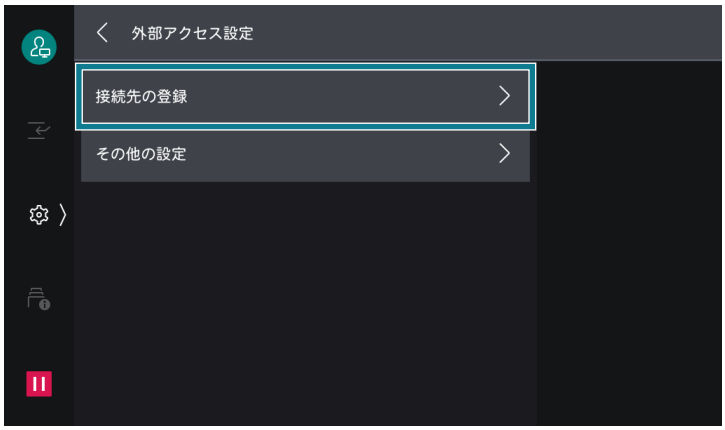
本機に組み込まれたブラウザーからネットワークを介して Web サーバーにアクセスし、データを格納したり、表示したりできる機能です。

- 外部サービスにアクセスして、本機と連携している Web アプリケーション画面を表示する
- スキャン文書を、本機と連携している Web アプリケーション上のフォルダーに格納する
- 外部のサーバーに格納してあるファイルをプリントする



接続先の登録

1. **機械管理者モードにログインします。**
2. **＞［設定］＞［アプリ設定］＞［外部アクセス設定］＞［接続先の登録］をタップします。**



3. **登録するサーバー番号を選択します。**

4. **サーバーの URL を入力し、［OK］をタップします。**

補足

- 外部アクセス用 Web ブラウザーのバージョンを特定した接続をする場合は、プロトコルの種類（http や https）とコロンの間にバージョンを指定します。たとえば、V4 で接続するときは「http-v4://www.example.com」と入力します。
- Web ブラウザーのバージョンを URL に指定して接続すると、［外部アクセスバージョンの選択］の設定は無効になります。

5. **必要に応じて、次の項目を設定します。**

[接続先名]

接続先の表示名を設定します。

[URL]

サーバーの URL が表示されます。

[説明]

接続先の説明を設定します。

[接続用ユーザー ID の使用]

外部サービスにアクセスするためのユーザー ID を使用するかどうかを設定します。

補足

- [使用しない] に設定しても、アクセス時にユーザー ID とパスワードの入力が必要になることがあります。
- > [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証 / 集計の設定] が [外部認証 / 集計] の場合、[使用しない] を選択すると、本機で認証されているユーザー情報を使用して、外部サービスにアクセスされます。
- 外部サービスにアクセスしたとき、認証の確認画面を表示するかどうかは、> [設定] > [アプリ設定] > [外部アクセス設定] > [その他の設定] > [認証情報送信時の確認画面] で設定します。

[接続用ユーザー ID]

外部サービスに認証するためのユーザー ID を設定します。

補足

- 外部サービスの種類によっては、[接続用ユーザー ID] を設定しても、設定が無効になることがあります。使用する外部サービスの設定を確認してください。

[接続用ユーザー ID のパスワード]

認証に使用するパスワードを設定します。

[本体 / 認証情報の通知]

本機を特定するための情報や、利用するユーザーの認証情報を、外部サービスに接続するたびに接続先に通知するかどうかを設定します。

補足

- これらの情報は、接続する外部サービスによって使用するかどうかが判断されるため、通常、操作パネルで設定することはありません。

[ユーザー権限情報の通知]

利用するユーザーの権限情報を、外部サービスに接続するたびに接続先に通知するかどうかを設定します。

[機能コード]

他機との連携サービス使用時に必要に応じて設定します。

サーバー証明書の検証

外部サーバー（ASP）との接続時、Windows の Web ブラウザーと同様に、サーバー証明書を検証する設定にすると、フィッシングを抑止できます。

サーバー証明書の検証には、サーバー証明書を発行しているルート証明機関のルート証明書（CA 証明書）を使用します。

補足

- CA 証明書ファイルの対応形式は次のとおりです。
  - DER encoded binary X.509 形式（.CER）
  - Base64 encoded X.509 形式（.CER）
  - Cryptographic Message Syntax Standard - PKCS #7 証明書形式（.P7B）

2.4 暗号化と署名機能

証明書

暗号化と署名機能を利用するには、証明書が必要です。

証明書の作成 / 削除、インポート / エクスポート、有効化は、インターネットサービスで行います。

参照

- 詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。

2.5 紙折り位置の調整

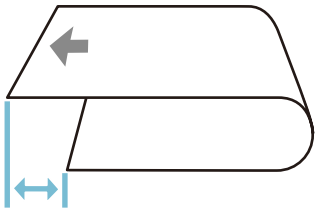
プリントされたサンプルを確認し、折りとホチキス（「製本＋ホチキス」の場合）のずれ量を測定します。

画面のイラストを参考に、ずれ量を入力することで、紙折りの位置が調整されます。

ずれ量の入力方法

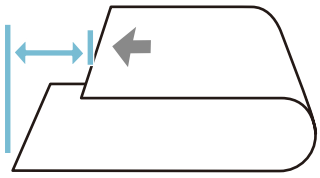
紙折りの位置

・矢印が印字されているページの方が大きいとき



［左が長い］を選択し、ずれ量を入力します。

・矢印が印字されていないページの方が大きいとき



［右が長い］を選択し、ずれ量を入力します。

ホチキスの位置

・矢印が印字されているページ側にホチキスが打たれているとき

［ホチキス左］を選択し、ずれ量を入力します。

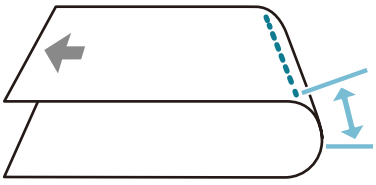
・矢印が印字されていないページ側にホチキスが打たれているとき

［ホチキス右］を選択し、ずれ量を入力します。

折り目の位置
天地トリマークリーサーが取り付けられている場合

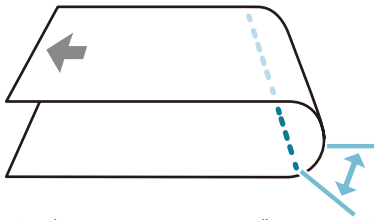
中とじ/中折り時は、紙折りの前に折り目が付けられることで、折り目のトナー割れが抑制されます。

・矢印が印字されているページ側に折り目が付いているとき



［左が長い］を選択し、ずれ量を入力します。

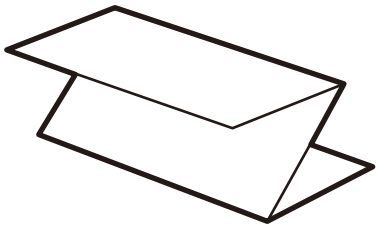
・矢印が印字されていないページ側に折り目が付いているとき



［右が長い］を選択し、ずれ量を入力します。

ずれ量の測定方法

プリントされたサンプルを折ります。



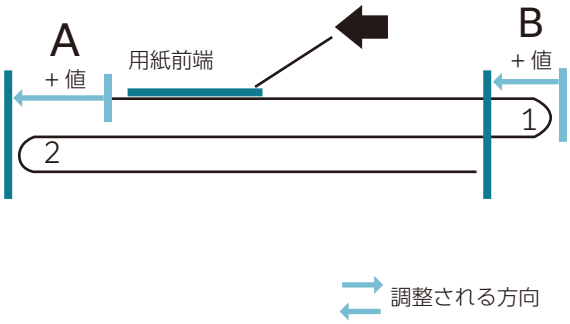
補足

- サンプルは紙折りのタイプによって異なります。

1. サンプルを畳んで、印字されている⇒の位置と画面のイラストの⇒の位置を合わせ、用紙前端～折り山の位置～用紙後端のずれ量を測定します。

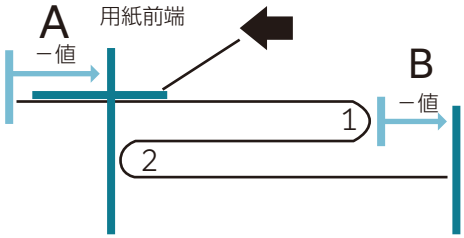
2. 画面のイラストを参考に、「+」、または「−」（ずれ方向により、異なります）のずれ量を入力することで、折り山の位置が調整されます。

「+」の測定値を入力します



調整される方向

「−」の測定値を入力します



調整される方向

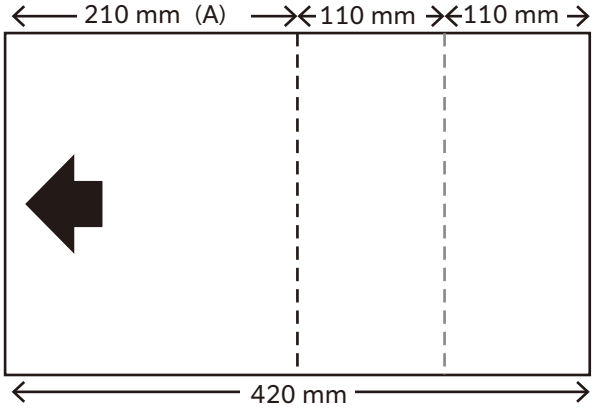
A	折り山 2 より引っ込んでいる（折り目の先端にくらべ短い）場合（画面のイラストと同じ）：「+」の値を入力します 折り山 2 より飛び出ている（折り目の先端にくらべ長い）場合（画面のイラストと逆）：「−」の値を入力します
B	折り山 3 より飛び出ている（折り目の先端にくらべ長い）場合（画面のイラストと同じ）：「+」の値を入力します 折り山 3 より引っ込んでいる（折り目の先端にくらべ短い）場合（画面のイラストと逆）：「−」の値を入力します

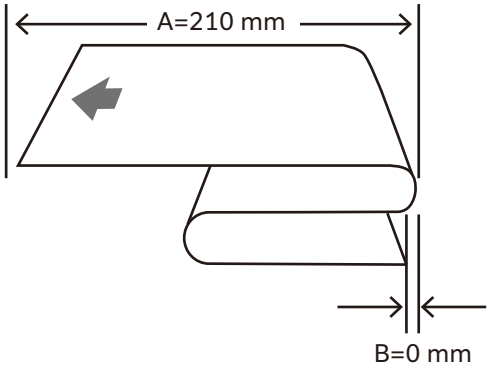
紙折り位置の調整方法

ここでは Z 折りを例に説明します。

手順に従って調整をすると、下図の仕上がりになるように調整されます。(A3 の場合)

標準の Z 折り（A 値：210 mm、B 値：0 mm）





任意の長さの折りに仕上げたい場合

測定値と仕上げる値をもとに、計算した数値を入力する必要があります。

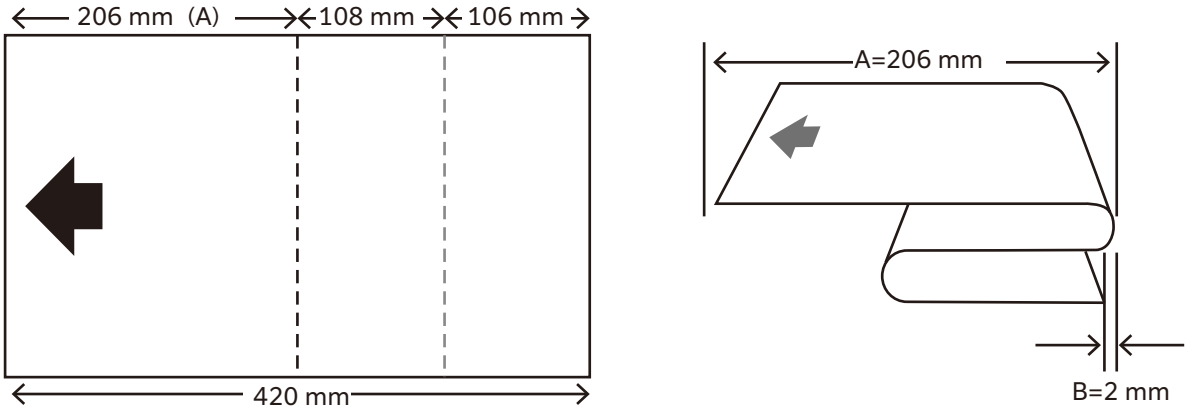
計算方法は、次のとおりです。

入力する値 (A) = 210 + (「測定値」-「仕上げる値」)

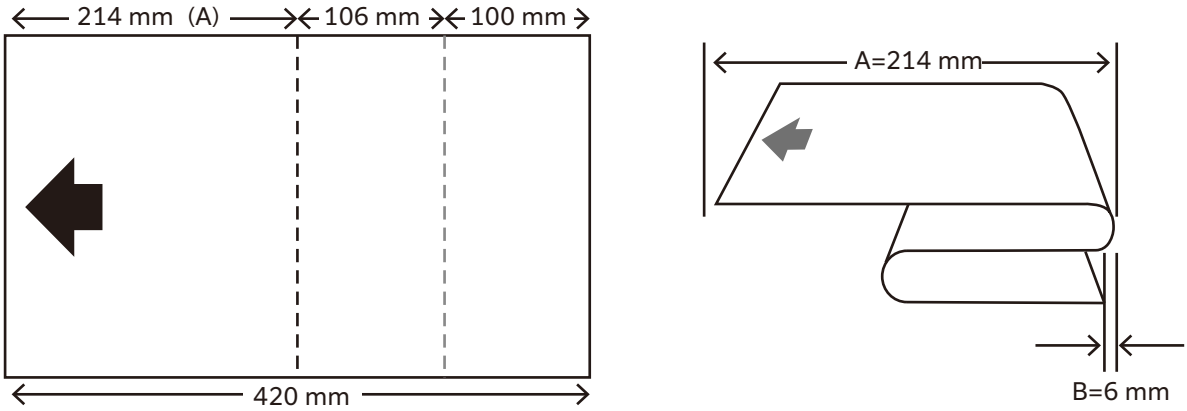
入力する値 (B) = 「測定値」-「仕上げる値」

たとえば、下図のように仕上げるときは、次のように計算します。

仕上げる Z 折り（A 値：206 mm、B 値：2 mm）



測定値（A 値：214 mm、B 値：6 mm）



仕上げる長さと測定値（例）
仕上げる長さは、A 値が 206 mm、B 値が 2 mm
測定値は、A 値が 214 mm、B 値が 6 mm
計算式（例）
A 値に入力する値：210 ＋（「214(測定値)」-「206(仕上げる値)」）＝「218」
B 値に入力する値：「6(測定値)」-「2(仕上げる値)」＝「4」

補足

- 仕上げる値 A、B は、次の範囲内で設定できます。

仕上げる値	内三つ折り	外三つ折り	Z 折り
A	0 ～ 2 mm	0 ～ 2 mm	（用紙の長さ ÷2 - 5）mm ～（用紙の長さ ÷2）mm*1
B	0 ～ 8 mm	0 ～ 2 mm	0 ～ 2 mm

*1 :A3 の場合は 210 ～ 205 mm

2.6　Tel/Fax 切り替えキット

補足

- 接続する電話回線、または TA によっては、正常に動作しないことがあります。
- 構内交換機に接続する場合、電気的仕様が日本電信電話株式会社（以降、NTT と呼びます）と同じかどうかを確認してください。仕様が NTT と異なる場合、機能が正常に動作しないことがあります。
- ファクス優先モード、または電話優先モードで「音声応答設定」を「有効」にしている場合、発信者には呼び出し中も課金されます。
- ナンバーディスプレイとモデムダイヤルインサービス回線に接続できますが、電話機には取得したモデルダイヤルイン情報を通知しません。また、ダイヤルインはモデム信号方式対応のため、PB 信号方式には対応していません。
- 留守番電話機には接続できますが、機種と設定によっては正常に動作しないことがあります。
- F ネット 1300Hz 無鳴動サービスには使用できません。
- キャッチホンサービスには使用できません。

動作モード設定

ファクス優先モード

着信すると本装置が応答し、ファクス信号を検知するとファクス機に接続します。電話の場合は、設定した時間だけ電話機を呼び出します。

補足

- 電話の場合、設定した時間内に応答をしないとファクス機に接続されます。ファクス機にはエラーが記録されます。
- 本モードに設定している場合、発信者には呼び出し中も課金されます。
- 電話機の呼び出し時間は、ディップスイッチの「呼び出し時間設定」で設定します。

電話優先モード

着信すると本装置は応答せずに設定した時間だけ電話機を呼び出します。電話機が応答しない場合は、ファクス機に接続します。

補足

- 電話機の呼び出し時間は、ディップスイッチの「呼び出し時間設定」で設定します。
- 本モードと「音声応答設定」を「有効」に設定している場合、発信者には呼び出し中も課金されます。

電話専用モード

着信すると本装置は応答せずに電話機を呼び出します。

その他の設定

ファクス転送設定

電話機で応答した場合、ファクス着信だったときは、電話機で「＊」「＊」「＊」（「＊」を 3 回）をダイヤルすると、ファクス機に転送できます。

補足

- 本機能を利用するには、ディップスイッチの「ファクス転送設定」を「有効」に設定してください。
- 本機能は相手からの着信時のみ有効です。
- ファクス機が送信を開始した場合、電話機からファクス機に転送しようとすると、「ピー」と音が鳴り、転送されずに回線が切断されます。

- 相手機から「*」「*」「*」が送られた場合、本機能が動作することがあります。

音声応答設定

着信時、本装置が電話機、またはファクス機の呼び出しを開始したとき、発信者に音声応答をします。

- 電話機呼び出し時の音声案内：「ただいまお呼びしております。そのままお待ちください。」
- ファクス機呼び出し時の音声案内：「応答がありません。ファクスの方は送信を開始してください。」

補足

- 本機能を使用する場合は、ディップスイッチの「音声応答設定」を「有効」に設定してください。
- ファクス優先モード、または電話優先モード設定時に有効です。
- 電話優先モード設定時は、ファクス機呼び出し時のみ音声案内をします。
- 発信者には音声応答中も課金されます。

ナンバーディスプレイ / モデムダイヤルイン設定

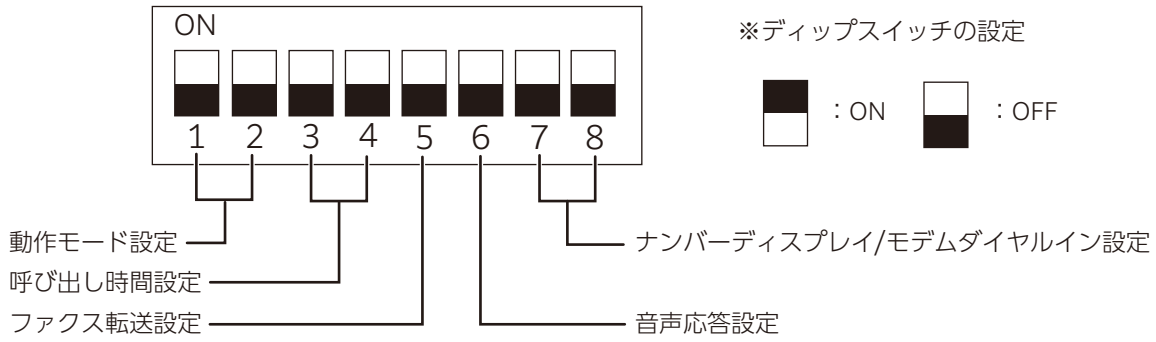
NTT のナンバーディスプレイ、モデムダイヤルインサービスをご契約の場合、本装置が取得した情報をファクス機、または電話機に通知します。

ファクス機の設定により受信したファクスのボックス振り分けが可能となります。

補足

- ご使用のファクス機でナンバーディスプレイ機能の設定が必要です。詳しくは、ファクス機のマニュアルを確認してください。
- ボックス振り分け機能がないファクス機では、ボックス振り分け機能は利用できません。
- 電話機には取得したモデムダイヤルイン情報は通知されません。
- 電話機のナンバーディスプレイ機能と本装置の「ナンバーディスプレイ / モデムダイヤルイン設定」を合わせてください。
- 交換機から情報受信端末起動信号（CAR）が取得できなかった場合、本装置は応答せずに TEL 端子に接続された電話機に回線を接続します。
- 接続するナンバーディスプレイ対応電話機によっては電話機が正常に動作しないことがあります。

ディップスイッチ機能一覧



機能	設定					
動作モード設定	動作モードを切り替えます。					
	1 2	ファクス優先モード	1 2	電話優先モード	1 2 1 2	電話専用モード

機能	設定					
呼び出し時間設定	ファクス優先モード、または電話優先モードのとき、着信時の電話呼び出し時間を設定します。					
	3 4	18 秒		3 4	12 秒	
	3 4	24 秒		3 4	30 秒	
ファクス転送設定	ファクス転送機能を設定します。					
	5	無効		5	有効	
音声応答設定	音声応答機能を設定します。					
	6	無効		6	有効	
ナンバーディスプレイ / モデムダイヤルイン設定	ナンバーディスプレイとモデムダイヤルイン機能を設定します。					
	7 8	無効		7 8	有効 1 FAX 端子側のみ有効	7 8	有効 2 FAX と TEL 端子の両方有効
	7 8	「有効 2」の設定で電話機にナンバーディスプレイ表示されない場合、本設定とします。				

補足

- ディップスイッチの切り替え操作は、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。
- 電話専用モードのときは、音声応答機能は無効となります。
- 「ナンバーディプレイ / モデムダイヤルイン設定」を「有効」にすると、電話呼び出し時間が設定より短くなることがあります。

基本操作

電話機やファクス機から発信したいとき

電話機やファクス機から通常どおり発信します。

補足

- ファクス機が回線使用中の場合は、受話器から話し中の音が聞こえます。ファクス通信が終了してから、再度発信操作を行ってください。

電話を受けるとき

電話機の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて話します。

ファクスが送られてきたとき

- ファクス優先モード設定時：自動でファクス機に転送されます。

- 電話優先モード設定時：
  電話機の呼び出し音が鳴ります。「呼び出し時間設定」で設定した時間、電話機で応答しないと、自動でファクス機に転送されます。
- 電話専用モード設定時：
  電話機の呼び出し音が鳴ります。

電話機からファクス信号が聞こえたとき

電話機で「＊」「＊」「＊」（「＊」を 3 回）をダイヤルします。受話器から「ピッピッピッ」と受付信号が聞こえたら、受話器を戻します。ファクス機に転送されます。

補足

- 受付信号が聞こえない場合は、再度「＊」「＊」「＊」をダイヤルしてください。

参照

- 詳しくは、「ファクス転送設定」(P.11) を参照してください。

操作時の注意事項

ファクス機に関する注意事項

- 本装置からの配線は、ファクス機の LINE 端子に接続してください。
- ファクス機の受信設定が自動受信に設定されていることを確認してください。また、ファクス機の受信開始時間を設定すると、本装置の「呼び出し時間設定」で設定した時間に加算されます。ファクス機の受信開始時間を 0 秒、または最短に設定することをおすすめします。
- ファクス機の電話 / ファクスの自動切り替え設定を OFF に設定してください。
- ファクス機の TEL 端子には、電話機を接続しないでください。
- 本装置の「ナンバーディスプレイ / モデムダイヤルイン設定」が「有効」のときは、ファクス機の該当機能を利用可能に設定してください。

停電時の注意事項

- 停電時は、TEL 端子に接続された電話機のみ使用可能です。その他の機能は動作しません。

2.7 困ったときには

トラブル対処

EP-BB 複合機管理サービスの契約をしている場合、本機の点検や修理が必要になったときは、自動で弊社のカストマーコンタクトセンターに通知されます。連絡を受けると、必要に応じて、カストマエンジニアが訪問します。

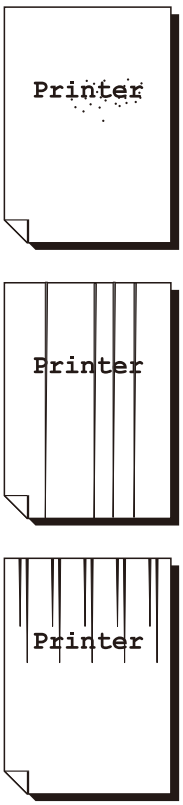
本体のトラブル

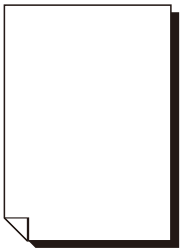
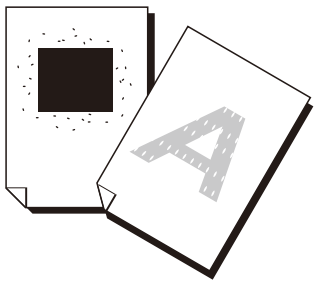
症状	原因 / 処置
電源が入らない	電源コードが抜けていたり、ゆるんでいたりすることがあります。 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとに、本機の電源を入れてください。
	本機を、適切な定格電圧と定格電流のコンセントに接続してください。

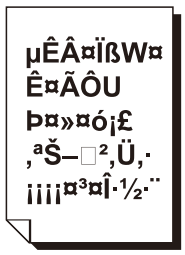
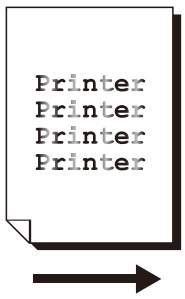
症状	原因 / 処置
パネルに何も表示されない	節電状態になっていることがあります。操作パネルの電源ボタンを押して、節電状態を解除してください。
異常な音がする	本機を安定した平面の上に移動してください。
	トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機内部に異物が入っていることがあります。 電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、弊社カストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
本機内部に結露が発生する	スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま約 60 分間放置してください。本機内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで⚙ > ［設定］ > ［システム設定］ > ［システム時計 / タイマー設定］ > ［暖機モード動作］ を ［する］ に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善することがあります。
節電状態に移行しない	次のようなときは、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。 • 操作パネルで何らかの操作をしているとき • 消耗品の交換メッセージが表示されているとき • 紙詰まりが起きた、カバーが開いているなどお客様の操作を必要としているとき • 故障などによりエラーが発生しているとき • ［暖機モード動作］ が ［する］ に設定されていて、本機が結露防止処理中のとき

画質のトラブル

症状	原因 / 処置
プリントがうすい (かすれる、不鮮明) 	使用している用紙が適切ではありません。用紙トレイの設定を確認の上、適切な用紙をセットしてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていないことがあります。残量を確認の上、新しいトナーカートリッジと交換してください。
	プリンタードライバーからプリントした場合やコピーした場合は、［自動階調補正］ を行ってください。詳しくは、『リファレンスガイド 操作編』の「［画質調整］」を参照してください。
	プリントサーバーからプリントした場合は、プリントサーバーでキャリブレーションを行ってください。キャリブレーションについては、プリントサーバーに付属のマニュアルを参照してください。
	ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジと定着ユニットの状態によっては、交換が必要なことがあります。弊社カストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
黒点や黒線、または色線がプリントされる 等間隔に汚れが発生する 	用紙搬送路に汚れが付着していることがあります。数枚プリントしてください。
	定着器が汚れていることがあります。 ⚙ > [設定] > [保守] > [定着器クリーニング] で定着器に付着した汚れをクリーニングしてください。
	ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジと定着ユニットの状態によっては、交換が必要なことがあります。弊社カストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる 	選択されているトレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	特殊な用紙では定着ができないことがあります。適切な用紙に交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	定着ユニットが劣化、または損傷しています。定着ユニットの状態によっては、交換が必要なことがあります。弊社カストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
用紙全体が黒くプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要なことがあります。弊社カストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
	高圧電源の故障が考えられます。弊社カストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
何もプリントされない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています。用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要なことがあります。弊社カストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
	高圧電源の故障が考えられます。弊社カストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
白抜けや白筋、または色筋が出る 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	本機内部の LED プリントヘッド部が汚れていることがあります。 LED プリントヘッド部を清掃してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていないことがあります。 残量を確認の上、新しいトナーカートリッジと交換してください。
	ドラムカートリッジが正しくセットされていません。 正しくセットし直してください。
	ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジと定着ユニットの状態によっては、交換が必要なことがあります。弊社カストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
	現像剤が劣化しています。トナークリーニングを実行しても改善しない場合は交換が必要なことがあります。弊社カストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
画像の一部が抜けて白点になる 画像の一部が白く抜ける 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかっている 	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。

症状	原因 / 処置
文字化けする 画面表示とプリント結果が一致しない 	TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっています。 プリンタードライバーの、［詳細設定］タブにある［フォントの設定］で、TrueType フォントのプリント方法を［常に TrueType フォントを使う］に設定してください。
斜めにプリントされる 	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
用紙送り方向に対して垂直方向に濃度のムラがある 	機械管理者モードにログインし、⚙ ＞［設定］＞［保守］＞［画質調整］＞［面内ムラ調整（直角方向）］で濃度ムラを調整してください。機械管理者モードへのログインについては、『リファレンスガイド 操作編』の「認証モードへのログイン」を参照してください。
用紙送り方向に濃度のムラがある 	機械管理者モードにログインし、⚙ ＞［設定］＞［保守］＞［画質調整］＞［面内ムラ調整（用紙送り方向）］で濃度ムラを調整してください。機械管理者モードへのログインについては、『リファレンスガイド 操作編』の「認証モードへのログイン」を参照してください。

症状	原因 / 処置
周期的な縦方向の濃度ムラがある 	機械管理者モードにログインし、⚙ ＞［設定］＞［保守］＞［画質調整］＞［プリントヘッド縦ムラ調整］で濃度ムラを調整してください。機械管理者モードへのログインについては、『リファレンスガイド 操作編』の「認証モードへのログイン」を参照してください。
色味がおかしい	プリンタードライバーからプリントした場合やコピーした場合は、［自動階調補正］を行ってください。詳しくは、『リファレンスガイド 操作編』の「[画質調整]」を参照してください。
	プリントサーバーからプリントした場合は、プリントサーバーでキャリブレーションを行ってください。キャリブレーションについては、プリントサーバーに付属のマニュアルを参照してください。
はがきや封筒にきれいにプリントされない	本機で使用できない種類のはがきや封筒がセットされています。適切な用紙をセットしてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されていることを確認してください。

トレイや用紙送りのトラブル

症状	原因 / 処置
用紙が送られない 紙詰まりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわが付く	用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、はがきなどの厚い紙、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、紙をよくさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用できる用紙をセットしてください。 用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわが付くことがあります。
	トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機を安定した平面の上に移動してください。
	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足さないで、セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。 用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
トレイが正しく選択されない	用紙ガイドの位置がずれていると、本機はセットされている用紙のサイズを正しく検知できないことがあります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、トレイの設定、用紙サイズ、および用紙種類が適切に設定されていることを確認してください。
用紙の角が折れる	用紙が反って（カールして）いると、角が折れることがあります。次の対処をしても改善しない場合は、新しい用紙と交換してください。 • 反りが直るように、用紙を平らにならしてください。 • 用紙を裏返してください。 • トレイ 1 ～ 4 を使用している場合は、手差しトレイを使用してください。

症状	原因 / 処置
手差しトレイから用紙が送られない	プリンタードライバーの［トレイ / 排出］タブで［用紙トレイ選択］を［自動］に設定しています。［トレイ 5（手差し）］を選択するか、［自動］の場合は手差しトレイを自動選択トレイの対象に設定してください。
手差しトレイから用紙を送った際、用紙の先端が折れる	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 手差しトレイの用紙セット枚数を 30 枚以下に減らしてください。 用紙のセット方向を変更してください。用紙トレイ 1 ～ 4 から用紙を送ってください。

コピーのトラブル

症状	原因 / 処置
原稿送り装置から原稿がうまく送り込まれない	原稿送り装置にセットできる原稿の最小サイズを確認して、適切なサイズの原稿をセットしてください。
	変形原稿、名刺、OHP フィルム、薄い原稿は、原稿送り装置では使用しないでください。また、付せん、クリップ、セロハンテープ、ホチキスを付けた原稿も使用しないでください。
	原稿サイズに合わせて、原稿ガイドを正しくセットしてください。
	サイズが異なる原稿をセットしている場合、［ミックスサイズ原稿送り］を設定しないと、原稿詰まりが発生します。［ミックスサイズ原稿送り］の設定を［する］にしてください。
コピーが汚れている	原稿カバー、原稿ガラス、フィルム、原稿読み取りガラスを清掃してください。
	OHP フィルムなどの透過度の高い原稿を使用している場合は、原稿の上に白紙を載せてスキャンしてください。
	カラーペーパー、ざら紙、青焼きなどの原稿を使用している場合、紙の地色がコピーに写ります。濃度を調整するか、画質を調整するか、地色除去を指定してコピーしてください。
	光沢のある印画紙は、原稿ガラスに張り付きやすく、影が汚れのようにコピーされることがあります。OHP フィルムなどの透明フィルムを原稿の下に敷いてコピーしてください。
コピーが濃すぎる、または薄すぎる	黒い文字をコピーして、薄いと感じた場合は、［原稿の画質］で［文字］を選択してください。
原稿の色と、コピーの色が異なる	［自動階調補正］を行ってください。詳しくは、『リファレンスガイド 操作編』の「[画質調整]」を参照してください。
	［原稿の画質］で、原稿に合わせた画質タイプを選択してください。
	黒い文字をコピーして、薄いと感じた場合は、［原稿の画質］で［文字］を選択してください。
コピーが部分的に写らない	用紙が湿気を含んでいる場合は、新しい用紙と交換してください。
	トレイからしわや折りが付いている用紙を取り除くか、新しい用紙と交換してください。
	貼り合わせた原稿や、折り込んだ原稿の場合、貼り合わせた部分や折り込んだ部分が、原稿ガラスに密着していないことがあります。原稿の上に白紙の束などを重ねて、原稿ガラスに密着するようにしてください。
コピーに縞模様が写る	拡大コピーをすると、倍率によって縞模様が発生します。コピーの倍率を調整してください。

症状	原因 / 処置
希望のサイズにコピーされない	原稿カバー、または原稿ガラスを清掃してください。
	OHP フィルムなどの透過度の高い原稿を使用している場合は、原稿の上に白紙を載せてスキャンしてください。
	原稿を正しくセットしてください。
	定形外サイズの原稿を使用しています。原稿のサイズを入力してコピーしてください。

プリンターのトラブル

症状	原因 / 処置
状態表示ランプが点滅している	操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。
プリントできない	本機の IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。
	受信制限の設定を確認してください。
	一度に送信されるプリントデータの容量が、本機の受信容量の上限を超えていることがあります。受信バッファ容量の設定をメモリースプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。プリントデータを本機の受信容量上限より小さいサイズに分割してください。プリントデータが複数ある場合は、一度にプリントするファイルの量を減らしてプリントしてください。
プリントに時間がかかる	受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書をプリントするときは、操作パネルの［メモリー設定］で使用しない項目のメモリー容量を減らし、受信バッファ容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、プリント処理が速くなることがあります。プリントデータの容量に応じて、受信バッファ容量を調整してください。 また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをおすすめします。
	プリンタードライバーの［印刷モード］の設定で、［グラフィックス］タブの［印刷モード］の設定を［標準］に変更すると、プリントにかかる時間を短縮できることがあります。
	TrueType フォントのプリント方法によっては、プリントに時間がかかることがあります。プリンタードライバーの［詳細設定］タブにある［フォントの設定］で、TrueType フォントのプリント方法を変更してください。
	厚紙、コート紙など用紙の種類によりプリント速度が遅くなることがあります。 また、連続運転をしていて、本機内部の温度が一定以上になった場合は、プリント速度を落としてプリントします。そのまま、連続運転したり、さらに温度が上がったりした場合は、エラーで停止します。そのときは、電源を切って、しばらく待ってプリンター内部の温度を下げてから、電源を入れ直してください。
プリントを指示していないのに、［プリントしています。］が表示される (USB インターフェイス使用時)	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れた場合は、プリントを中止してください。
印字された文書の上部が欠ける 思った位置にプリントされない	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。
	⚙ ＞［設定］＞［保守］＞［画質調整］＞［アライメント調整］でプリントする位置を調整してください。

ファクスのトラブル

症状	原因 / 処置
未送信レポートが出力された	未送信レポートの「通信結果」欄を確認して対処してください。エラーコードが表示されている場合は、弊社公式サイトのサポートページから『エラーコード検索』を参照して対処してください。
通信できない（一般のファクス）	本機には電話線を差し込む場所が複数あります。正しい場所に差し込まれていないと通信できません。正しい場所に差し込まれている場合、「オンフック」機能を使用して一般回線に通信できます。
	近くにある電話機で、電話ができるかどうか確認してください。電話ができない場合は、本機の異常ではなく、電話回線に問題があります。 ターミナルアダプターや ONU などの接続機器の電源が入っているかを確認してください。
	本機に設定されている回線の種別を、契約している回線の種別（PB/10 pps/20 pps）と合わせてください。
	送信先のファクスの電源が切れていたり、受信モードが手動受信であったり、G3 受信ができないファクスの場合、送信できません。また、送信先が用紙切れやメモリーオーバーのこともあります。送信先に電話をかけて確認してください。
	ファクス番号を確認して、再度送信してください。 G3 で DP（ダイヤルパルス）を使用する場合は、ファクス番号に「*」や「#」を使用できません。
	内線から発信している場合、外線発信番号が必要です。ダイヤル時に、外線発信番号「0」などをダイヤルしてから、ファクス番号をダイヤルしてください。交換機が変更になり、外線発信番号「0」をダイヤルしても通信できない場合は、「0 ＊」で通信できることがあります。
	アドレス帳の宛先を指定して、発信時に外線発信番号を付与している場合、アドレス帳の宛先に外線発信番号の「0」が、すでに登録されていることがあります。未送信レポートで送信先の電話番号を確認してください。
	原稿のデータ量が多すぎます。 解像度を下げてデータ量を少なくするか、数回に分けて送信してください。
	原稿のサイズが大きすぎます。 読み取り可能なサイズに変更するか、原稿を分割して送信してください。
	ファクス網に問題があります。 「161」、または「162」のあとに、「-」（ポーズ）を 2 回入れてから電話番号を入力してください。また、ファクス網と契約しているかどうかも確認してください。
	ポーリングなどの機能を使用するときは、送信先のファクスが対応しているかどうか確認してください。
	認証、集計管理機能を使用している場合に、コンピューターから直接ファクスを送信するときは、ファクスドライバーで、本機に登録されている正しいユーザー名と暗証番号を設定してください。
	回線 1 ～ 3 付加サービスが正しく設定されていません。電話会社との回線契約（ナンバー・ディスプレイ / 発信者番号表示とダイヤルイン）を確認して、設定してください。
	発信番号通知の振り分け機能を利用するには、NTT とのナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
	モデムダイヤルインの振り分け機能を使用するには、NTT とのモデムダイヤルインの契約が必要です。
	本機の電源が入っていないと受信できません。本機の電源を入れてください。

症状	原因 / 処置
通信できない（一般のファクス）	本機に用紙がセットされていない場合、受信した文書をプリントできません。
	用紙が詰まっています。本機の操作パネルを見て、詰まっている用紙を取り除いてください。
	本機が機械管理者モードになっている場合は、受信できません。機械管理者モードを終了してください。
	受信パスワードを設定している場合、F コードで正しい受信パスワードを送信してくる相手だけ、受信やポーリングを受け付けることができます。
	手動受信に設定されています。手動受信を解除するか、自動受信に設定してください。
	FAX 情報サービスを利用するには、オンフック、またはオフフック画面で手動受信モードに設定して、情報コードなどを入力したあと、最後に［スタート］をタップしてください。
	送信元で原稿を正しくセットしていません。送信元に確認してください。通信時は、本機側だけの問題ではなく、相手機側のトラブルによって異常が発生することがあります。

症状	原因 / 処置
通信できない（IP ファクス (SIP)）	本機に正しい IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定してください。
	本機に正しい SIP アドレスを設定してください。
	本機に正しい SIP サーバーの IP アドレスを設定してください。
	SIP サーバーが正常に動作していることを、ネットワーク管理者に確認してください。
	SIP サーバーへの本機の情報の登録が失敗しています。 本機の電源を切って、入れ直してください。
	送信先の IP ファクス（SIP）機の電源が切れている場合は送信できません。送信先に確認してください。
	宛先の指定方法が正しくありません。次の宛先を指定してください。 SIP サーバー、VoIP ゲートウェイともに使用していない場合：宛先に「SIP ユーザー名 @IP アドレス」を指定してください。 SIP サーバーだけを使用している場合：宛先に「SIP ユーザー名」、または「電話番号」を 指定してください。 VoIP ゲートウェイを使用している場合：宛先に「電話番号」を指定してください。 SIP サーバー、VoIP ゲートウェイともに使用している場合：宛先に「SIP ユーザー名」、または「電話番号」を指定してください。
	ポーリングなどの機能を使用するときは、送信先のファクスが対応しているかどうか確認してください。
	認証、集計管理機能を使用している場合に、コンピューターから直接ファクスを送信するときは、ファクスドライバーで、本機に登録されている正しいユーザー名と暗証番号を設定してください。
	IP ファクス（SIP）の同時接続数はひとつです。同時に送受信はできません。 IP ファクス（SIP）の受信が終わったあとに、もう一度、送信してください。 IP ファクス（SIP）の送信が終わったあとに、送信元に再送を依頼してください。
	ネットワーク中継機器（スイッチ / ルーター / ファイヤーウォールなど）で、IP ファクス（SIP）用ポートを利用可能に設定してください。
	SIP サーバーを使用する環境で、本機で受付 IP アドレスを制限している場合は、受付 IP アドレスに SIP サーバーの IP アドレスを追加してください。
	Ethernet ケーブルが 1 分以上抜けていた場合、SIP サーバー上の Register リカバリが終了すると登録に成功します。処置は必要ありません。
	本機の電源が入っていないと受信できません。本機の電源を入れてください。
	本機が機械管理者モードになっている場合は、受信できません。機械管理者モードを終了してください。
	受信パスワードを設定している場合、F コードで正しい受信パスワードを送信してくる相手だけ、受信やポーリングを受け付けることができます。

症状	原因 / 処置
通信できない（IP ファクス（SIP）で VoIP ゲートウェイを使用している場合）	本機に正しい VoIP ゲートウェイを登録してください。
	VoIP ゲートウェイが正常に動作していることを、ネットワーク管理者に確認してください。
	VoIP ゲートウェイ上の設定が正しいことを、ネットワーク管理者に確認してください。
	送信先の G3 ファクス機が正常に動作していません。送信先の G3 ファクス機の電源が切れている場合は送信できません。送信先に電話をかけて確認してください。
IP ファクス（SIP）通信に時間がかかる	使用しているネットワーク環境に合わせ、本機の［IP パケット送信優先度］の設定値を大きくしてください。
	ネットワーク中継機器（スイッチ / ルーターなど）の QoS 値ごとに割り当てられているキュー（バッファ）が小さいため、通信データの損失が大量に発生しています。 ネットワーク中継機器で、ネットワーク環境に適したパラメーターを設定してください。
	ネットワーク内で通信速度が異なっているため、通信データの損失が大量に発生しています。 ネットワーク内で通信速度を統一してください。
	VoIP ゲートウェイの通信パラメーター（input gain/output attenuation、echo 設定など）がネットワーク環境に合っていないため、通信データの損失が大量に発生しています。 VoIP ゲートウェイで、ネットワーク環境に適したパラメーターを設定してください。
	電話用ネットワークとデータ用ネットワークを分けて運用している場合、IP ファクス（SIP）機をデータ用ネットワークに接続しています。ネットワーク環境全体で QoS 設定をして、トラフィック管理をしてください。本機の QoS は［IP パケット送信優先度］を設定してください。
IP ファクス（SIP）通信時にネットワークのほかの通信 / 通話が遅くなる	使用しているネットワーク環境に合わせ、本機の［IP パケット送信優先度］の設定値を小さくしてください。
	電話用ネットワークとデータ用ネットワークを分けて運用している場合、IP ファクス（SIP）機を音声用ネットワークに接続しています。ネットワーク環境全体で QoS 設定をして、トラフィック管理をしてください。本機の QoS は［IP パケット送信優先度］を設定してください。
画質が悪い	送信元の原稿読み取り部が汚れているか、送信元の解像度が低く設定されています。 送信元に確認してください。 通信時は、本機側だけの問題ではなく、相手機側のトラブルによって画質に異常が発生することがあります。
	プリントを実行しても画質が悪い場合は、「画質のトラブル」(P.15) を参照してください。
	ドラムカートリッジに傷があります。 コピーを実行して、画質が悪い場合は、ドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因 / 処置
1 ページの受信文書が複数に分割される	本機は、原稿を受信した場合の処理方法を、自動縮小受信との組み合わせで設定できます。 組み合わせによって、受信文書は次のようにプリントされます。 • 自動縮小受信ありで、しきい値以内の場合 自動的に縮小されて、1 枚にプリント • 自動縮小受信ありで、しきい値を超える場合 等倍で分割されてプリント • 自動縮小受信なしで、しきい値以内の場合 定型サイズを超える部分をカットしてプリント • 自動縮小受信なしで、しきい値を超える場合 等倍で分割されてプリント
ボックスセレクター機能を設定しているのに、受信文書が選択したボックスに蓄積されず、プリントされてしまう	ボックスセレクター機能の設定で、未登録のボックスが選択されています。登録済みのボックスを選択してください。

スキャナーのトラブル

症状	原因 / 処置
取り込み中に動作が止まる	ファイルサイズが大きすぎます。解像度を低く設定して、再度読み込んでください。
未送信レポートが出力された	未送信レポートの「通信結果」欄を確認して対処してください。エラーコードが表示されている場合は、弊社公式サイトのサポートページから『エラーコード検索』を参照して対処してください。
マルチページ TIFF 文書が開かない、または 1 ページ目しか表示されない	複数ページの原稿を読み取ると、マルチページ TIFF 文書になります。マルチページ TIFF に対応している TIFF Viewer をインストールしてください。
カラー原稿を読み取ったが、文書が開かない	文書が TIFF 形式で保存されている場合は、TIFF Viewer を使用して文書を開くことができます。PDF を閲覧できる環境の場合は、文書を PDF 形式で保存してください。
	インターネットサービスで取り出した文書は TIFF 形式になるため、TIFF Viewer を使用すると文書を開くことができます。PDF を閲覧できる環境の場合は、文書を PDF 形式で保存してください。

症状	原因 / 処置
ネットワーク転送できない	[サーバー] を正しく指定してください。
	[保存場所] を正しく指定してください。
	[SMB] を選択した場合は、[共有名] を正しく入力してください。
	ログイン名が正しく入力されていません。ログイン名の入力を確認してください。
	パスワードが正しく入力されていません。パスワードの入力を確認してください。
	Windows OS への転送の場合、本機と Windows の時刻設定が一致していません。 本機と Windows の時刻設定を一致させてください。
	Windows OS を使用している場合に、パスワードを設定しないユーザーで SMB 転送しようとしています。次の方法でネットワークへのアクセス設定を変更してください。 **1.** Windows を起動して、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [ローカル セキュリティ ポリシー] をクリックします。 **2.** [セキュリティの設定] > [ローカルポリシー] > [セキュリティ オプション] をクリックします。 **3.** [アカウント ：ローカルアカウントの空のパスワードの使用をコンソールログオンのみに制限する] を [無効] に設定します。
	SMB 転送に指定した DFS の名前空間が 4 つ以上のルートで構成されています。 3 つ以下のルートで構成された DFS 名前空間を指定してください。
	指定した保存場所のアクセス権が正しくありません。指定した保存場所で、ファイルやフォルダーの読み取りと書き込みができるようにアクセス権を設定してください。
	SMB のポート番号がブロックされています。転送先のサーバー、複合機とサーバーの間に存在するルーターや転送先のサーバー上のウィルススキャンソフト、ファイアウォールソフトなどで SMB ポートがブロックされていないことを確認してください。
白黒のグラデーションが希望どおり再現されない	[カラーモード] の [白黒（2 階調）] を選択しています。 [カラーモード] の [グレースケール（256 階調）] を選択してください。

Tel/Fax 切り替えキットのトラブル

症状	原因 / 処置
ランプが点灯していない	電源コードが抜けています。電源コードを電源コンセントに差し込み直してください。
	正しい電圧のコンセントに接続されていません。正しい電圧のコンセントに接続してください。
すべてのランプが点滅している	電源コードを抜いて、しばらくしてから電源コンセントに差し込み直してください。
電話機、ファクス機から発信できない	電話回線は、本装置の LINE 端子に接続されていません。本装置の LINE 端子に接続してください。
	電話回線が抜けています。正しく接続されているか確認してください。
	電話機とファクス機のダイヤル種別（DP/PB）の設定が、ご利用の電話回線の契約（仕様）と一致していません。電話回線の契約を確認してください。

症状	原因 / 処置
発信しようとすると話し中の音がして発信できない	本装置に接続されている電話機、またはファクス機が使用中です。電話機、またはファクス機の使用が終わってから操作してください。
発信しようとすると無音であり発信できない	本装置が自動応答しているとき（最大 10 秒）は、話し中の音（ビジートーン）が鳴りません。その間は、回線も使用できません。しばらくしてから電話をお使いください。
ファクス受信なのにファクス機に自動で切り替わらない	「動作モード設定」が「電話専用モード」になっています。「ファクス優先モード」、または「電話優先モード」に設定してください。
	ナンバーディスプレイ、モデムダイヤルインサービス契約回線ではないのに、「ナンバーディスプレイ / モデムダイヤルイン設定」が「有効」になっています。「無効」に設定してください。
電話機で受けられない、電話機の呼び出し音が鳴らない	電話機が、本装置の TEL 端子に接続されていません。TEL 端子に接続してください。
	電話回線が抜けています。正しく接続されているか確認してください。
	電話機の呼び出し音が鳴らないように設定されています。電話機の呼び出し音の設定を確認してください。
	「ナンバーディスプレイ / モデムダイヤルイン設定」と電話機の設定が合っていません。設定を合わせてください。
ファクスが受信できない	ファクス機が本装置の FAX 端子に接続されていません。FAX 端子に接続してください。
	ファクス機の受信設定が自動受信になっていません。自動受信に設定してください。
	ファクス機がエラー状態になっています。エラーを解除してください。
	相手ファクス機が送信エラーとなっている場合、「呼び出し時間設定」の設定値を短くしてください。
	ナンバーディスプレイ、モデムダイヤルインサービス契約回線なのに、本装置の「ナンバーディスプレイ / モデムダイヤルイン設定」が「無効」になっています。「有効」に設定してください。
ファクス送信時に話し中の音が鳴っていないのに送信できない（話し中以外のエラー）	次の状態のときは、話し中の音（ビジートーン）が鳴らず、話し中以外のエラーになることがあります。 再度、送信し直してください。 • ファクス転送設定の有効時に、着信したとき • ファクス優先モード時、電話機の呼び出し中 • 音声応答設定の有効時、音声応答中
電話機使用中に回線が切れる	「ファクス転送設定」を「有効」に設定している場合、「＊」「＊」「＊」（「＊」を 3 回）をダイヤルすると、ファクス機に接続が切り替わります。
電話機で「＊」「＊」「＊」をダイヤルしてもファクス機に転送されない	「ファクス転送設定」が「無効」（工場出荷時：「無効」）になっています。「有効」に設定してください。
	電話機のダイヤル種別が「DP」になっています。トーン信号に切り替えてから、「＊」「＊」「＊」（「＊」を 3 回）をダイヤルしてください。トーン信号への切り替え方法は、電話機のマニュアルを確認してください。

2.8 設定復元ツール

本機のストレージの故障によるデータ消失に備えて、ネットワークで接続されたコンピューターに、設定データなどをバックアップする機能です。

設定復元ツールは、弊社公式サイトからダウンロードします。

https://www.fujifilm.com/fb/

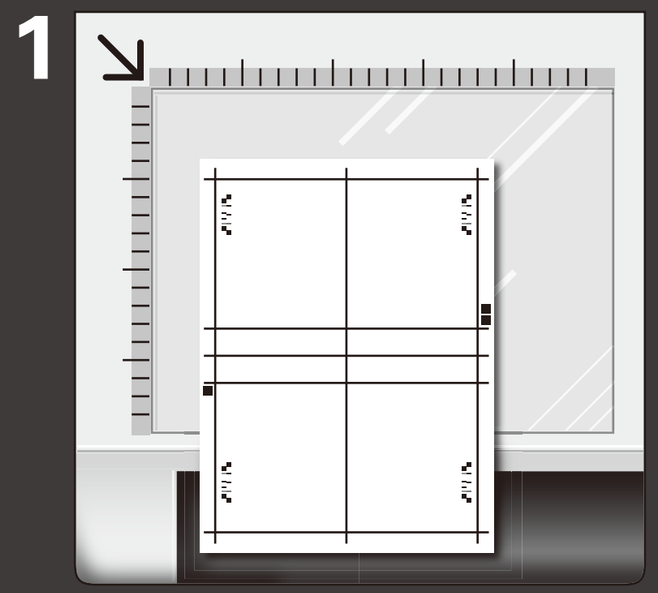
2.9 ライセンス

本製品は、第三者が権利を有するオープンソースソフトウェア（以降、OSS と呼びます）が含まれています。各 OSS の適用ライセンス、著作権表示、および個別のライセンス条件については、インターネットサービスの［サポート］＞［OSS ライセンス情報のダウンロード］で確認できます。

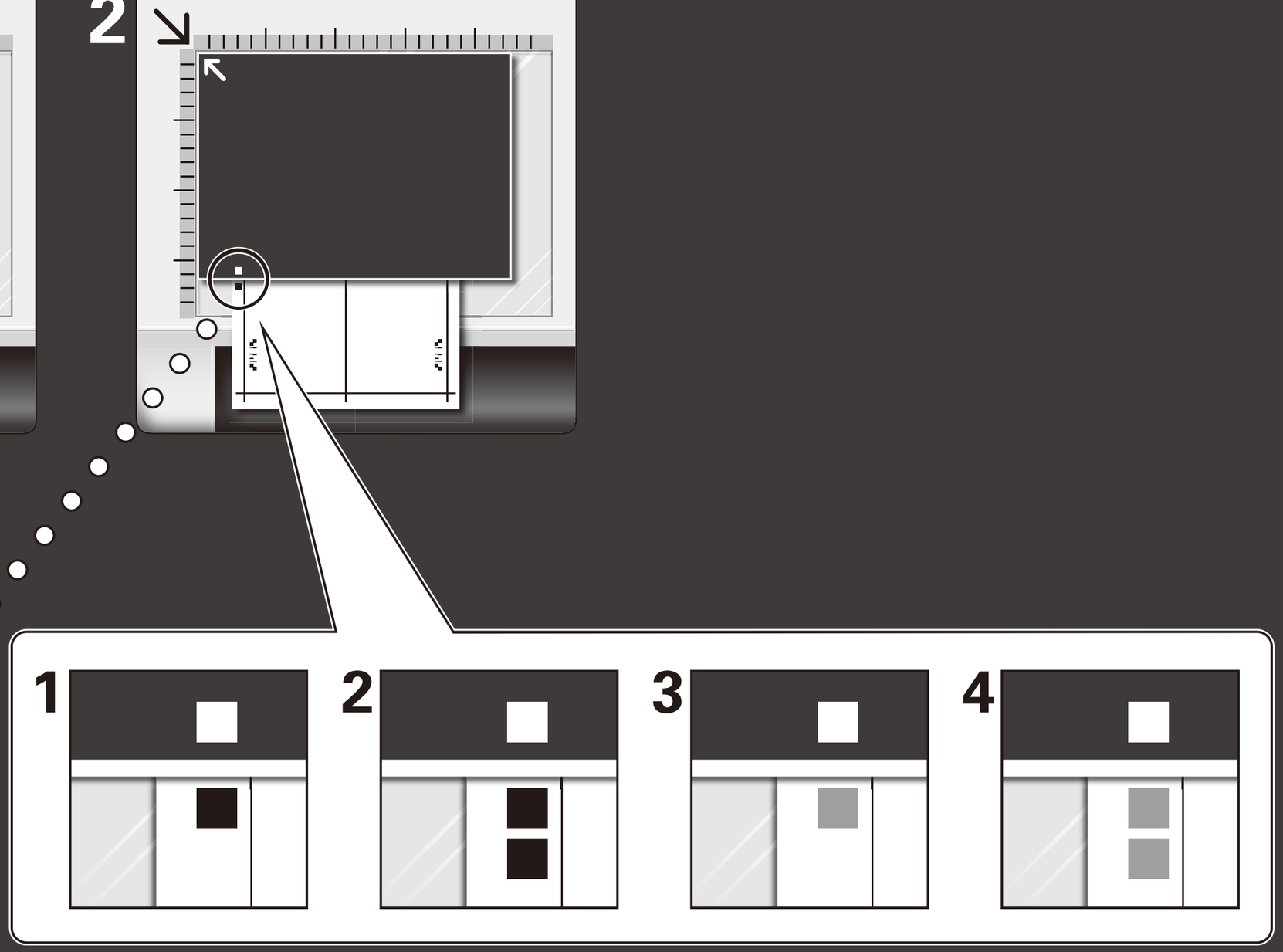
本製品は、GNU Library General Public License 2.0 など、OSS ライセンスに基づき許諾されるソフトウェアを含んでいます。

OSS ライセンスに基づき、対象となるソフトウェアのソースコードの入手を希望される方は、以下のサイトより入手が可能です。

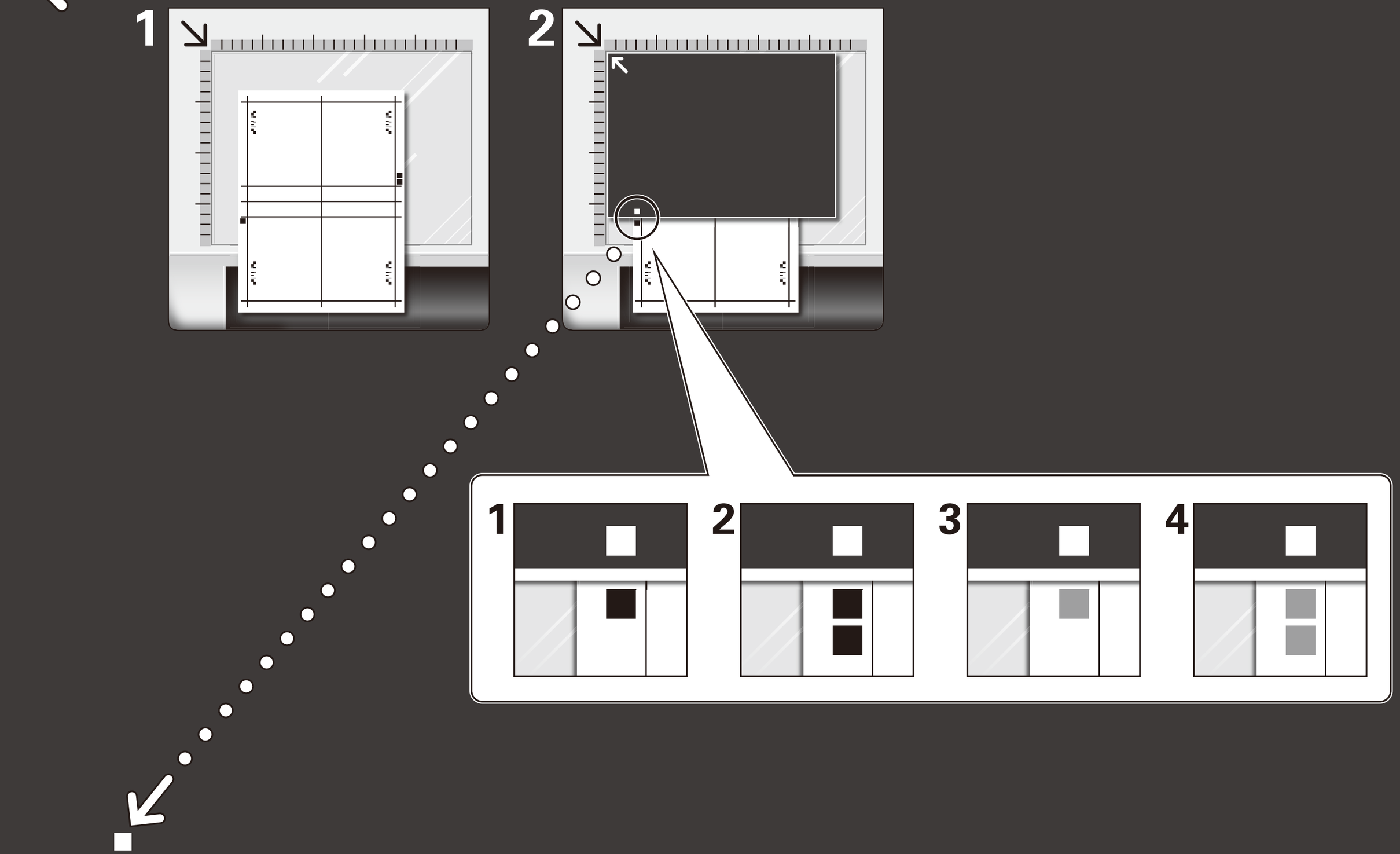
https://fujifilm.com/fb/etc/oss/mfp/a_c7070/v1_0


1

2


1
2
3
4

SIQA_sheet1_A3


1
2
1
2
3
4

SIQA_sheet1_11×17